

本市では「越谷市観光振興計画(H28.4)」において、元荒川などを活かし、水辺が一体となった良好な空間を創出して観光振興を図っていくこととしています。また、本市では「越谷市総合戦略」及び「中心市街地活性化基本計画(H25.3)」において、元荒川周辺と一体となった整備の検討を進めています。

本提案は、市内の各駅を商業と観光の玄関口と位置づけ、各エリアへの集客をはかるだけでなく、元荒川沿いの遊歩道を整備し、下流のレイクタウンエリアから上流の北部副次核エリアまでつなぐことにより、越谷市の自然や歴史を感じながら各エリア間を移動できるようにすることにより、市民や観光客の回遊性を高め、商業と観光の発展を促進するものです。そして、『自然にふれあい、歴史を感じみんなが生き生き enjoy city 越谷』を目指します。

取組のイメージ図

- 道路
- - - - - 緑道(遊歩道)

文化財・史跡

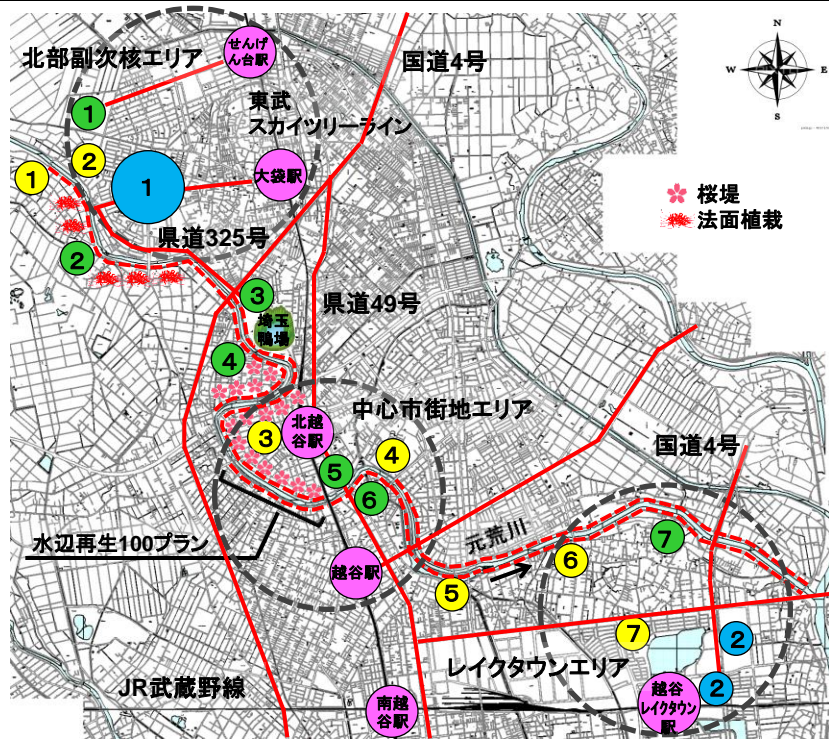
- 1 野島浄山寺(大鑿口)
- 2 一条院(本堂の建具)
- 3 浄光寺(銅造五智如来)
- 4 天嶽寺(木造釈迦如来涅槃像)
- 5 谷古田領元塚(煉瓦樋門)
- 6 大聖寺(山門)
- 7 旧東方村中村家住宅

公共施設

- 1 埼玉県立大学
- 2 スポット広場
- 3 越谷梅林公園
- 4 フジバカマ公園
- 5 河畔公園、親水広場
- 6 御殿町公園、親水広場
- 7 大成町公園

その他

- 1 西大袋土地区画整理事業
- 2 大型商業施設(イオンレイクタウン)



計画等の位置付け

■越谷市総合戦略(まち・ひと・しごと創生)

「安定した雇用を創出し、農業・工業・商業の均衡のとれた職住近接のまちをつくる」を基本目標の1つとし、商店街及び中心市街地の活性化推進の施策をきっかけ、地域社会を支える持続性のある産業を育成し、活性化をはかるとしている。

■越谷市観光振興計画

「人と水と緑を結ぶ、スマイル創造・交流タウン“こしがや”を将来像とし、伝統行事との連携や、町なみなどを活用した施策をきっかけ、地域独自の観光資源を活かした取りくみを充実させる」としている。

■越谷市中心市街地活性化基本計画

「水辺を生かし、越ヶ谷の歴史が息づく、暮らしやすいまちづくり」を基本テーマとし、(仮称)大沢一丁目河畔公園や親水広場を宿場をイメージし、整備するとともに、緑道により回遊性を高め、にぎわいと魅力のあるまちを形成するとしている。

目標・成果指標

■水辺にたたずむ空間の中で、市民や観光客が、歩いて、自然にふれあい、歴史を感じることが出来る緑道の整備を行う。さらに、レイクタウン、中心市街地及び北部副次核との結びつきをつくり、全域でにぎわいのある空間を創出します。

■観光客数及び施設の利用数

・遊歩道の延伸により、観光客の回遊性をはかるとともに、各エリアの発展に寄与する。

成果指標	現在	整備後
緑道の利用者数	27.3万人/年	29.9万人/年
親水広場を利用したイベント回数	—	4回/年

位置図



①甲冑めぐり



①野島浄山寺



②埼玉鴨場



②不動橋こいのぼり



③水辺再生100プラン



④桜堤



⑤葛西用水溜井



⑥しらこぼと橋



⑦親水護岸



⑧大相模調節池

川の状況

- 市内の元荒川は延長12.2km
- 活動団体 19団体
(うち川の国応援団の登録17団体)
- 川の特徴
 - ・堤防の桜堤は観光スポットになっている。
 - ・下流部においては、親水護岸で整備されている。
 - ・東武線から神明橋までの区間は、水辺再生100プランにより整備され、あゆみ会(川の応援団)との協働により、維持管理をしている。
- 過去の事業
 - ・水辺再生100プラン
遊歩道の整備:延長1100m

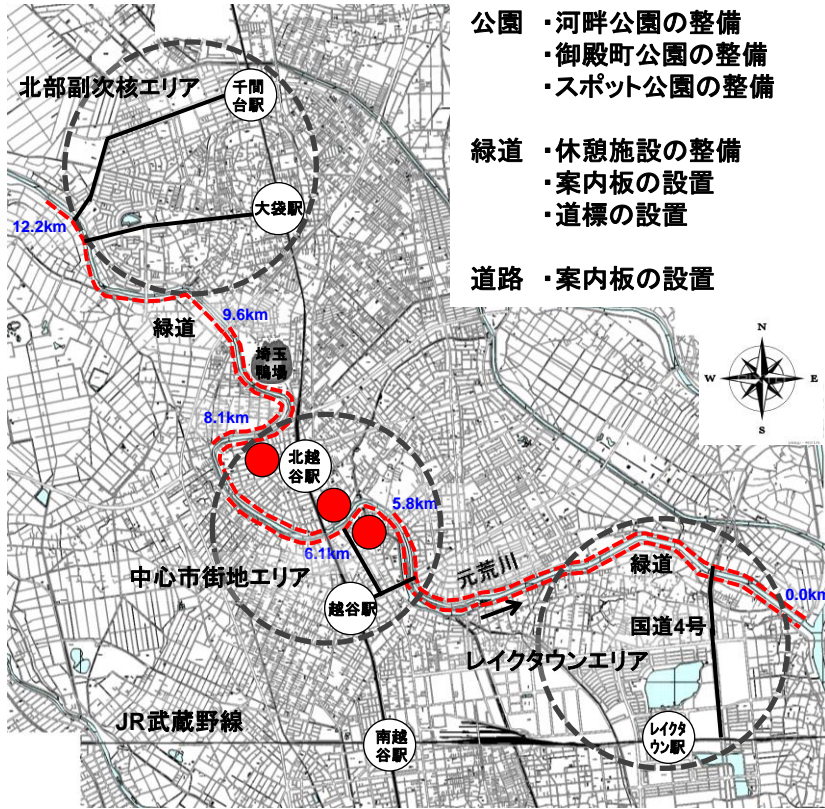
まちの状況

- 地域資源
 - ・本市は、江戸時代に日光街道および奥州街道の宿場町として整備されて栄えた歴史や文化を有しており、歴史的な景観や、文化財・史跡が点在している。
 - ・3月から4月にかけて、梅(梅林公園)と桜(元荒川桜堤)の開花をむかえ、市内外から多数の観光客が訪れる。
 - ・中心市街地エリアやレイクタウンエリアにおいて、「甲冑めぐり」や「不動橋こいのぼりフェスタ」などのイベントを実施し、観光客の誘致を積極的に行っている。
- 課題
 - ・通過方観光が多く、中心市街地等への経済効果の波及が大きい。このため、中心市街地等の空き店舗、空き事務所が増え、空洞化がすすんでいる。
 - ・観光客の多くが、花(梅や桜)を見るために来るため、季節による観光客の人数の差が大きい。
 - ・歴史的な文化財や史跡などが点在しているが、これを結びつける緑道が整備されていない。

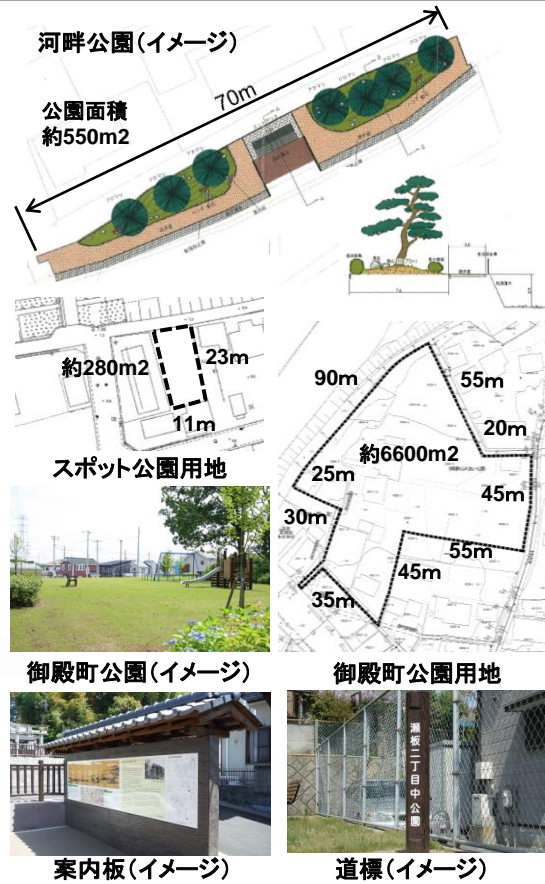
市町村が取り組む事業等の概要

この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図



- 公園**
 - ・河畔公園の整備
 - ・御殿町公園の整備
 - ・スポット公園の整備
- 緑道**
 - ・休憩施設の整備
 - ・案内板の設置
 - ・道標の設置
- 道路**
 - ・案内板の設置



事業等の概要

(ハード)

- 河畔公園の整備 (約550m²) (元荒川左岸6.1km堤外)
 - ・ 休憩施設や便益施設などの整備 (ベンチ、トイレなど)
- 御殿町公園の整備 (約6600m²) (元荒川右岸5.8km堤外)
 - ・ 休憩施設や遊具施設などの整備 (ベンチ、砂場など)
- スポット公園 (約280m²) (元荒川左岸8.1km堤外)
 - ・ 休憩施設や遊具施設などの整備 (ベンチ、健康遊具など)
- 緑道施設の整備
 - ・ 休憩施設 (ベンチ) の整備 約20箇所
 - ・ 道標の設置 約30箇所
- 案内板の設置
 - ・ 緑道及び道路への案内板の設置 約10箇所

(ソフト)

- 市民との協働の拡充
 - ・ 協働による緑道の維持管理
- 観光プログラムの充実
 - ・ ボランティアによる観光ガイド
 - ・ ウォーキングイベントの開催
- 情報発信
 - ・ 観光ガイドブックの作成
 - ・ フェイスブック、ブログ等の活用
 - ・ 広報紙やイベントでの啓発活動

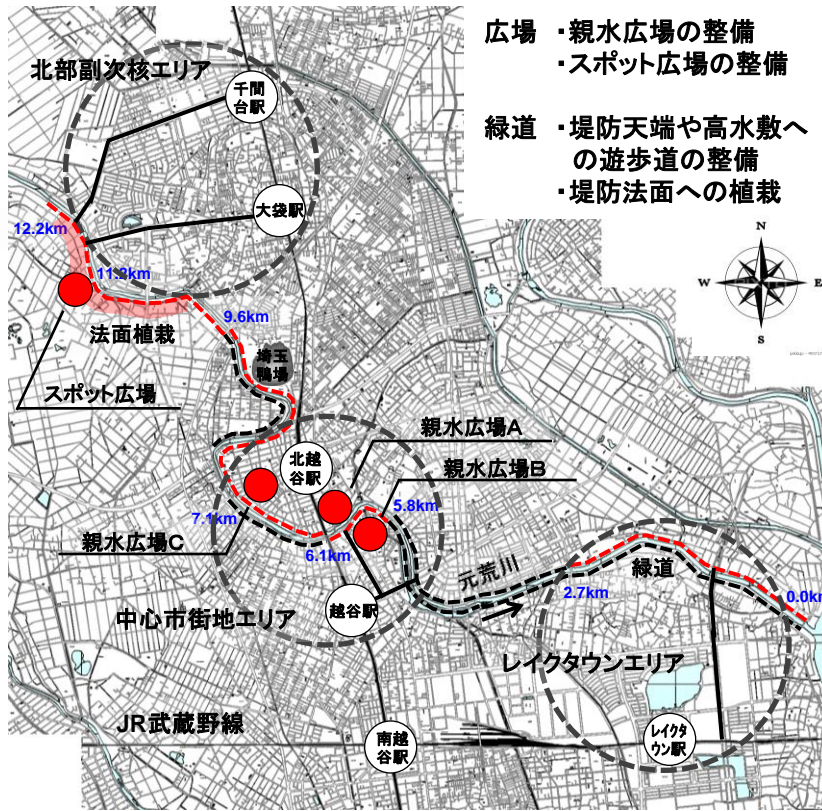
工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
河畔公園の整備			●	●	●	1,600万円
御殿町公園の整備	●	●	●	●	●	21,000万円
スポット公園の整備			●	●		300万円
緑道の整備			●	●	●	700万円
案内板の設置					●	200万円

県に実施してほしい整備の概要

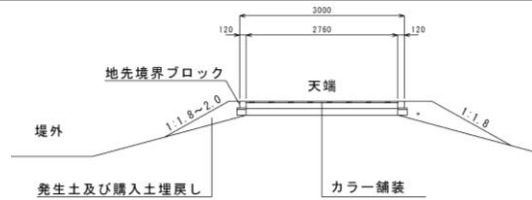
この資料は市の提案書の抜粋であり、この内容の全てが実施されるものではありません。

位置図



広場 ・親水広場の整備
・スポット広場の整備

緑道 ・堤防天端や高水敷への遊歩道の整備
・堤防法面への植栽



緑道標準断面図(イメージ)

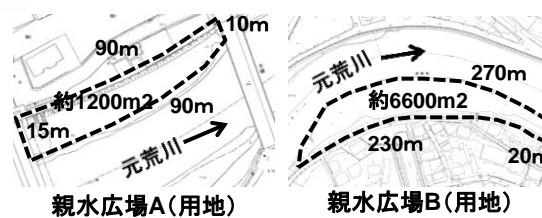


緑道(イメージ)



法面植栽(イメージ)

親水広場(イメージ)



実施してほしい整備概要

- 親水広場Aの整備(約1200m²) (元荒川左岸6.1km堤外)
 - ・広場の整備、階段護岸の整備(河畔公園へのアクセス)
- 親水広場Bの整備(約6600m²) (元荒川右岸5.8km堤外)
 - ・広場の整備、階段護岸の整備(緑道へのアクセス)
- 親水広場Cの整備(約300 m²) (元荒川左岸7.1km堤外)
 - ・広場の整備
- スポット広場の整備(約480m²) (元荒川左岸11.2km堤内)
 - ・広場の整備
- 緑道の整備(延長 約9600m) (元荒川右岸5.3km～6.1km, 9.6km～12.2km、元荒川左岸0.0km～2.7km、6.1km～9.6km)
 - ・堤防天端又は高水敷の舗装整備又は再整備
 - ※ 再整備箇所の総延長約5100m(元荒川右岸9.6km～12.2km、元荒川左岸6.1km～8.6km)
- 堤防法面(川表)への植栽(延長 約2200m) (元荒川右岸10.0km～12.2km)
 - ・堤防の法面への草花の植生

工程表・想定事業費

	H28	H29	H30	H31	H32	想定事業費
親水広場Aの整備					●——●	4,800万円
親水広場Bの整備					●——●	13,200万円
親水広場Cの整備			●——●			600万円
スポット広場の整備			●——●			1,000万円
緑道の整備		●——●				16,350万円
法面植栽			●——●			4,400万円